平成25年3月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月31日

上 場 会 社 名　　株式会社　赤阪鐵工所　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　6022　　URL　http://www.akasaka-diesel.jp
代　　表　　者　(役職名)　取締役社長　　(氏名)　赤阪　全七
問合せ先責任者　(役職名)　常務取締役総務・営業担当　(氏名)　木村　充宏　　(TEL)054(685)6081

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月14日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第２四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	5,765	△3.5	123	―	141	―	75	―
24年３月期第２四半期	5,974	5.0	△40	―	△36	―	△40	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年３月期第２四半期	4　94	―　―
24年３月期第２四半期	△2　67	―　―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
25年３月期第２四半期	15,299	7,979	52.2	521　36
24年３月期	15,389	8,006	52.0	523　08

（参考）　自己資本　　25年３月期第２四半期　7,979百万円　　24年３月期　8,006百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年３月期	―　―	―　―	―　―	3　00	3　00
25年３月期	―　―	―　―			
25年３月期(予想)			―　―	2　00	2　00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	11,700	2.8	180	―	200	―	100	―	6　53

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（注）　詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　（２）会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	15,400,000株	24年３月期	15,400,000株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	94,417株	24年３月期	93,471株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	15,306,056株	24年３月期２Ｑ	15,306,897株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
４．補足情報 …… 8
生産、受注及び販売の状況 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞を脱し回復の途上にあったものの、長引く円高や欧州債務危機を背景にした金融市場の動揺、中国経済の変調等、海外経済の減速で先行きに対する不透明感が急速に強まっており、経済活動の本格的な回復の妨げになっております。

このような中、海運業界は震災の反動や復興需要等で一部内航船の荷動きが回復しつつありますが、外航船については円高の継続と厳しい環境下にあります。また、造船業界においても船腹過剰に伴う新造船需要の減少、韓国や中国との価格競争激化など厳しい受注状況が続いております。

当社におきましても、厳しい経営対応を迫られ、当第２四半期は、売上高5,765百万円（前年同期比3.5%減）、経常利益141百万円（前年同期　経常損失36百万円）、四半期純利益75百万円（前年同期　四半期純損失40百万円）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第２四半期末の総資産は15,299百万円となり、前事業年度末に比べ90百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形の増加（103百万円）と製品の減少（184百万円）等による流動資産の減少（27百万円）と投資その他の資産の増加（168百万円）と減価償却による有形固定資産の減少（228百万円）等による固定資産の減少（62百万円）によるものです。

当第２四半期末の負債は7,319百万円となり、前事業年度末に比べ63百万円減少いたしました。主な要因は、前受金の増加（305百万円）等による流動負債の増加（331百万円）と長期借入金の返済による減少（282百万円）等による固定負債の減少（394百万円）によるものです。

当第２四半期末の純資産は7,979百万円となり、前事業年度末に比べ26百万円減少いたしました。主な要因は、繰越利益剰余金の増加（56百万円）等による利益剰余金の増加（29百万円）、その他有価証券評価差額金の減少（60百万円）等によるものです。

この結果、当第２四半期末における自己資本比率は52.2%となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

業績予想及び配当予想については、第２四半期実績及び今後の経営環境を踏まえ平成24年10月25日に修正いたしております。詳しくは、同日付け公表の「平成25年３月期第２四半期及び通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	11,700	230	220	130	8.49
今回修正予想（B）	11,700	180	200	100	6.53
増減額（B－A）	－	△50	△20	△30	－
増減率（%）	－	△21.7	△9.1	△23.1	－
（ご参考）前期実績（平成24年３月期）	11,378	△201	△146	△177	△11.63

なお、配当予想につきましても、上記公表の「平成25年３月期第２四半期及び通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、１株あたり２円にさせていただいております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更よる当第２四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3 【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第2四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,792,858	2,849,061
受取手形及び売掛金	4,072,722	4,124,861
製品	407,300	223,000
仕掛品	2,555,858	2,623,280
原材料及び貯蔵品	501,526	498,742
その他	203,044	180,242
貸倒引当金	△8,412	△1,663
流動資産合計	10,524,897	10,497,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,830,372	1,772,564
その他（純額）	1,962,862	1,791,739
有形固定資産合計	3,793,234	3,564,304
無形固定資産	29,472	26,704
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,066,446	1,234,511
貸倒引当金	△24,482	△23,834
投資その他の資産合計	1,041,963	1,210,677
固定資産合計	4,864,671	4,801,686
資産合計	15,389,568	15,299,211
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,443,107	2,562,124
短期借入金	1,055,260	1,033,664
未払法人税等	7,449	52,459
引当金	261,317	249,956
資産除去債務	4,600	－
その他	1,011,533	1,216,301
流動負債合計	4,783,267	5,114,506
固定負債		
社債	326,400	284,000
長期借入金	1,716,440	1,434,020
退職給付引当金	140,145	118,759
役員退職慰労引当金	158,653	152,628
その他	258,051	215,600
固定負債合計	2,599,690	2,205,009
負債合計	7,382,957	7,319,515

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第2四半期会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,455,391	5,484,902
自己株式	△30,477	△30,430
株主資本合計	7,861,259	7,890,817
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150,939	90,029
繰延ヘッジ損益	△5,588	△1,151
評価・換算差額等合計	145,351	88,877
純資産合計	8,006,610	7,979,695
負債純資産合計	15,389,568	15,299,211

（２）【四半期損益計算書】
【第２四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	5,974,793	5,765,682
売上原価	5,223,525	4,891,076
売上総利益	751,268	874,606
販売費及び一般管理費	791,721	750,940
営業利益又は営業損失（△）	△40,453	123,665
営業外収益		
受取利息	579	749
受取配当金	10,037	9,677
スクラップ売却益	17,965	14,399
受取技術料	－	10,773
その他	18,777	16,516
営業外収益合計	47,359	52,116
営業外費用		
支払利息	41,000	31,667
その他	1,992	2,785
営業外費用合計	42,992	34,453
経常利益又は経常損失（△）	△36,085	141,328
特別利益		
投資有価証券売却益	－	1,080
特別利益合計	－	1,080
特別損失		
投資有価証券評価損	31,363	16,828
その他	385	3,080
特別損失合計	31,748	19,909
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△67,834	122,499
法人税等合計	△26,943	46,905
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△40,890	75,594

（３）【四半期キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△67,834	122,499
減価償却費	359,111	258,263
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3,325	△7,397
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,500	△3,000
製品保証引当金の増減額（△は減少）	30,871	△8,360
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△18,578	△21,385
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	6,537	△6,025
受取利息及び受取配当金	△10,617	△10,427
支払利息及び手形売却損	41,168	31,667
固定資産除売却損益（△は益）	385	3,080
投資有価証券売却損益（△は益）	―	△1,080
投資有価証券評価損益（△は益）	31,363	16,828
売上債権の増減額（△は増加）	51,285	47,921
割引手形の増減額（△は減少）	△399,991	△100,060
たな卸資産の増減額（△は増加）	678,743	119,661
その他の資産の増減額（△は増加）	154,249	28,558
仕入債務の増減額（△は減少）	△366,502	119,017
未払消費税等の増減額（△は減少）	62,129	△55,484
その他の負債の増減額（△は減少）	58,767	261,812
小計	615,914	796,088
利息及び配当金の受取額	10,617	10,934
利息の支払額	△39,451	△25,659
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	24,775	△2,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	611,855	779,195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△57,000	△59,500
定期預金の払戻による収入	54,000	54,000
有形固定資産の取得による支出	△27,234	△36,500
有形固定資産の売却による収入	―	95
無形固定資産の取得による支出	△3,537	△2,471
投資有価証券の取得による支出	△20,472	△1,317
投資有価証券の売却による収入	―	10,176
貸付けによる支出	△8,167	△4,108
貸付金の回収による収入	3,191	2,766
投資その他の資産の増減額（△は増加）	2,192	2,139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,027	△34,720
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	―	△33,340
長期借入れによる収入	100,000	―
長期借入金の返済による支出	△264,328	△270,676
社債の償還による支出	△53,200	△43,200
自己株式の純増減額（△は増加）	△225	△116
配当金の支払額	△46,639	△46,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	△264,392	△393,772
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	290,435	350,703
現金及び現金同等物の期首残高	2,656,292	2,272,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,946,727	2,623,021

（４）継続企業の前提に関する注記

当第２四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社の事業は舶用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであります。

（１）生産実績

当第２四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

セグメント名称	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	前年同期比(%)
内燃機関関連事業(千円)	5,581,382	1.2

（注）１　金額は販売価格によっております。

２　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

（２）受注状況

当第２四半期累計期間における受注状況は次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	5,477,806	11.1	6,121,440	△16.7

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

（３）販売実績

当第２四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメント名称	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	前年同期比(%)
内燃機関関連事業(千円)	5,765,682	△3.5

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。